

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果					
		1	2	3	4	5	6
学位論文審査基準	1		○	◎		◎	◎
	2	◎	◎		◎	◎	
	3				○	◎	
	4	○	○	○	◎		
	5				○	◎	◎
	6	◎	○	○		◎	◎
	7	◎		◎		○	○

自然科学研究科物理学専攻博士後期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	A 優	B 良	C 可	D 不可
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえた的確性	研究目的が非常に明確で、学術的に意義を有すると認められる課題が設定されていること。また、研究課題が申請された学位に妥当であると同時に、獨創性、知見の新規性、有用性等の学術的な価値を高いレベルで有すること。さらに、先行研究を十分に参照し、そのことが非常に明確に示されており、引用が正確になされていること。	研究目的が明確で、学術的に意義を有すると認められる課題が設定されていること。また、研究課題が申請された学位に妥当であると同時に、獨創性、知見の新規性、有用性等の学術的な価値を十分に有すること。さらに、先行研究を十分に参照し、そのことが明確に示されており、引用が正確になされていること。	研究目的がある程度明確で、学術的に意義を有すると認められる課題が設定されていること。また、研究課題が申請された学位に妥当であると同時に、獨創性、知見の新規性、有用性等の学術的な価値を有すること。さらに、先行研究を十分に参照し、そのことが示されており、引用が正確になされていること。	研究目的が不明確で、学術的に意義を有すると認められる課題が設定されていない。また、研究課題が申請された学位に妥当ではなく、獨創性、知見の新規性、有用性等の学術的な価値が認められない。
課題を追求する方法論の適切性	研究課題の追求が、データ、資料などの処理、分析、解釈の仕方も含めて、非常に適切かつ極めて主体的に行われていること。	研究課題の追求が、データ、資料などの処理、分析、解釈の仕方も含めて、適切かつ主体的に行われていること。	研究課題の追求について、データ、資料などの処理、分析が行われていること。	研究課題の追求が不十分であり、データ、資料などの処理、分析が十分に行われていない。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究課題探求のために採用された、理論、実験、分析、シミュレーション、観測、調査あるいは資料収集などの方法が非常に適切であること。	研究課題探求のために採用された、理論、実験、分析、シミュレーション、観測、調査あるいは資料収集などの方法が適切であること。	研究課題探求のために採用された、理論、実験、分析、シミュレーション、観測、調査あるいは資料収集などの方法に改善する余地がある。	研究課題探求のために採用された、理論、実験、分析、シミュレーション、観測、調査あるいは資料収集などの方法が不適切であり、重大な問題がある。
結論の妥当性	論文の構成、論述が非常に明確かつ適切で、結論に至る論理展開に十分な一貫性が認められること。	論文の構成、論述が明確かつ適切で、結論に至る論理展開に一貫性が認められること。	論文の構成、論述がある程度明確かつ適切で、結論に至る論理展開が認められること。	論文の構成、論述が適切ではなく、結論に至る論理展開が不十分である。
研究の獨創性と研究分野への貢献	研究テーマ、研究手法、導き出された結論等に非常に独自の価値の高い価値が認められ、当該研究領域及び社会に大きく貢献する特筆すべき優れた成果を提供していること。	研究テーマ、研究手法、導き出された結論等に独自の価値が認められ、当該研究領域及び社会に貢献する優れた成果を提供していること。	研究テーマ、研究手法、導き出された結論等にある程度の独自の価値が認められ、当該研究領域及び社会に貢献する成果を提供していること。	研究テーマ、研究手法、導き出された結論等に独自の価値が認められず、提供される成果が当該研究領域及び社会に貢献していない。
その他	国際的なレベルでの非常に高度な知識と技術を有し、抜群の協調性を持ちながらも独立した研究者及び専門家としての豊かな学識が十分に認められると同時に、科学者としての倫理を理解し社会への責任を果たすことが大いに期待できること。	国際的なレベルでの高度な知識と技術を有し、協調性を持ちながらも独立した研究者及び専門家としての学識が十分に認められると同時に、科学者としての倫理を理解し社会への責任を果たすことが期待できること。	国際的なレベルでの知識と技術を有し、ある程度の協調性を持ちながらも独立した研究者及び専門家としての学識が認められると同時に、科学者としての倫理を理解し社会への責任を果たすことが期待できること。	国際的なレベルでの知識と技術が不足しており、独立した研究者及び専門家としての学識が不十分である。科学者としての倫理の十分な理解が認められない。